

## 学習指導案(国語科)

指導教諭： 先生  
指導科目名：現代文B  
実習生：

1、実施日時：6月16日(土)第2時限 9:40~10:30

2、学級：第2学年 組 42名(男子24名、女子18名)

3、場所：2年 組 HR教室

4、使用教材：『精選現代文B』（東京書籍,2017年）p.27-p.29

5、単元名：中島敦『山月記』

6、単元の目標：

- ・人物、場面、心情などの描写を的確にとらえ、表現を味わう。
- ・語句の意味・用法の的確な理解ができるようになる。

7、教材観：

本教材は、『人虎伝』をもとに創作された作品である。そのため、冒頭から漢文調の文体が続き、読み慣れるまでは時間がかかることが予想される。しかし、物語の展開は、非常に理解しやすいものであり、また李徴の心情が語られる場面では、自己を見つめ、自らの行動を振り返ることの大切さについて書かれている。

8、生徒観：

難解な文章が出てくるとしばしば混乱を起こすこともあるが、補足説明を行えば、教員から投げかけられた問いに対して答えることができる。また、指示された内容をしっかりとこなすことができる生徒が多い。

9、指導観：

漢文調の文体への抵抗が予想されるため、音読によって独特の調子に慣れさせる必要がある。また、難解な表現や語句にも注意しながら場面ごとに内容をとらえ、人物、場面、心情の描写を味わわせることを目標とする。

## 10、取り上げる言語活動：

作品の音読

## 11、単元の評価基準

A 関心・意欲・態度	B 話す・聞く/書く/読む能力	C 知識理解
文章の独特な表現を主体的に理解しようとしている。	人物、場面、心情などの描写を的確にとらえ、表現を味わうことができる。	語句の意味・用法を理解し、的確に理解ができるようになる。

## 12、指導計画

第1時限	作者紹介の後、第一段落に入る。李徴の性格や過去の出来事について書かれた文章を読み取り、李徴の人物像と発狂にいたるまでの経緯を理解する。
第2時限	袁愔の人物像を読み取り、李徴にとって袁愔はどのような人物であったのかを理解する。また、李徴の心情が伺えるような言葉や比喩表現についても学ぶ。
第3時限	虎になった経緯について語られる描写を読み、虎になったとわかったときの李徴の心情と行動を理解する。
第4時限	前回に引き続き、虎になった経緯について語られる描写を読み、「おれはしあわせになれるだろう」という言葉から心情を理解する。
第5時限	李徴がいかに詩に執着していたかに加えて、李徴の詩に対する袁愔の想いを読み取る。
第6時限	李徴の詩を読み、李徴の詩に欠けているところとは何か、李徴の自嘲癖という観点から考える。
第7時限	「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどういう意味かを理解し、2つの性情と自分が虎になったことにはどのような因果関係があるのかを考察する場面を読み取る。
第8時限	「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」に気づいた李徴が袁愔に対して自身の願いを託す場面における心情を理解する。
第9時限	最後の場面を音読した後、この作品における希望とは何かを考える。

## 13、本時の目標と評価規準

前回に引き続き、第三段落の文章を読み、内容を理解するだけでなく、李徴の言葉を紐解きながら、心情を深く理解する能力を高めることを目標とする。また、授業への積極的な参加を評価規準とする。

14. 準備物

- ・教科書

15. 本時の展開 (4/9)

学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価基準
<b>導入</b> (3分) ●前回の復習 (3分)	・ p. 280. 10～p. 280. 14 の復習を聞く。	・ 前回のノートと教科書を見ることを指示する。 ・ 虎の姿となった李徴がこの運命をどのようなものだと受け取ったか、人間の心が宿っている間できることは何であったかなど、第3段落の最初の内容を復習し、今回は p. 280. 15 から始めることを伝える。	・ 教科書とノートを開き、前回の復習についての説明を聞いているかどうか。
<b>展開</b> (45分) ●内容理解 (5分)  ●発問と解説 (5分)	・ p. 280. 16「これは恐ろしいことだ」の指示語の内容は何か答える。  ・ p. 280. 16 から初めて「自分」以外の人称表現で「俺」が出てきたが、それぞれどんな役割を果たしているか解説を聞く。	(正答) →俺はどうして人間だったのかと考えること。 ・ 人間の心が徐々に失われつつあることを説明する。  ・ 「自分」以外の人称表現で「俺」が出てきたが、それぞれどんな役割を果たしているかを解説する。 (解説) →「自分」は人間としての自己を客観的に語るときに使われており、「俺」は虎としての自分の立場から、現在の心情を語っている。	・ 正解不正解に関わらず答えることができるかどうか。  ・ 正解不正解にかかわらず、全員に聞こえるように大きな声で発表しているかどうか。
●比喩表現の解説 (5分)	・ 古い宮殿の礎と土砂はそれぞれ何を表して	(正答) 「古い宮殿の礎」は人間の	・ 正解不正解にかかわら

<p>●言葉理解 (5分)</p>	<p>いるかを考え、答える。</p> <p>・「いったい」という言葉の意味を理解する。</p>	<p>心、「土砂」は獣としての習慣</p> <p>・これらは比喩表現であると解説した後、板書する。</p> <p>(発問)</p> <p>・「いったい」という言葉の後には、どんな文章が続くか。</p> <p>(模範解答)</p> <p>・「いったい彼に何があったのだろうか」</p> <p>→疑問形がつづくがここでは疑問形ではないため、「そもそも」という意味で使われているということを説明する。</p>	<p>ず、答えることができるかどうか。</p> <p>・正解不正解に全員に聞こえるように大きな声で発表しているかどうか。</p>
<p>●発問 (5分)</p>	<p>・指名された生徒は、p. 290. 8「俺はしあわせになれるだろう」と李徴が言っているのはなぜかを考える。</p>	<p>・答えが出てこなかった場合、本当の「しあわせ」であるのかを尋ね、わざわざ傍点が振られて書かれている意味を考えてもらう。</p> <p>(正答)</p> <p>→己の残虐な行為を恥じることなく、人間性の喪失を見つめる恐怖もなくなり、今感じている葛藤や悩み、苦痛から解放されるから。</p>	<p>・正解不正解に全員に聞こえるように大きな声で発表しているかどうか。</p>
<p>●発問 (5分)</p>	<p>・p. 290. 8「そのこと」という指示語が指す内容を考える。</p>	<p>・「そのこと」がさす内容を生徒に尋ねる。</p> <p>(答え)</p> <p>→人間の心がすっかりと消</p>	<p>・正解不正解に全員に聞こえるように大きな声で発表</p>

<p>●内容理解 (5分)</p>	<p>・「この気持ちは誰にもわからない。誰にもわからない。」という言葉の意味を理解する。</p>	<p>えてしまうこと</p> <p>・答えられない生徒がいた場合、p. 290. 8の前の文章を見るように指示する。</p> <p>・「誰にも分からない。」という描写から、人間性喪失の恐怖や悲哀を一人で耐えねばならないと孤独で絶望的な心境であることを解説する。</p>	<p>しているかどうか。</p> <p>・解説を聞き、板書を取っているかどうか。</p>
<p>まとめ (2分)</p>	<p>・第三段落のまとめと第四段落の予告を聞く。</p>	<p>・絶望的な心境に陥っている李徴が袁愔に頼みたいこととは何かを第四段落では読み取ると伝えて授業を終える。</p>	<p>・まとめを聞いているかどうか。</p>